第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	市営住宅長寿命(事業番号	35–103		
	部名	部長名	課名		課等の長
事務事業担当	都市部	重田 浩光	建築住宅課	Ē	藤堂 勝彦

		計	画		(Plan)				
		まちづくり目標 4 住み続けたい快適で魅力あるまち							
総合計画体系	都市力	基本政策	9	快適で暮らしやっ	<u> </u>				
*6日日四 中不	目的ロンプ	施策展開のス	方向 16	便利で機能的な					
		施策	35	公共施設の効率	的な活用と維持管理	里・保全の推進			
予算事業名	市営住宅長寿命化対								
事務区分 〔選択〕	自治事務	法定受託事務	务 (這	選択してください)→	法令上の位置づけ	できる規定がある			
事業開始年度	開始年度	平	成25年度以前	~	終了年度	_			
関連法令等	住生活基本法								
国・県の計画等	住生活基本計画	(全国計画、都道	前原県計画)		計画期間	至国計画 平成28年度~令和7年度 都道府県計画			
関連個別計画	伊勢原市市営住	宅長寿命化計画	Ī		計画期間	平成22年度~令和元年度			
実施の背景 (事業を取りまく環境 ・市民ニーズ)						市営住宅における長寿命化 が求められています。			
目 的 (何をどうしたいのか)	伊勢原市市営住宅長寿命化計画に基づき、計画的な改修を行い、長寿命化を図ります。								
主な対象 (誰・何を対象に)	市営住宅入居者及び特に居住の安定を図る必要がある住宅困窮者								
事業内容 (手段、手法など)	市営住宅長寿命	化計画に基づき							
			、座恨的水•9	ト壁改修工事等に。	よる、長寿命化に資	する改善を進めます。			
		項目	、座根防水・ダ		年度				
	屋根防水改修	項目 5 、外壁改修	、座依切水・ダ	壁改修工事等に。 平成30年度 峰岸2・3号棟コ	年度 令和元年	度 令和2年度			
事業行程	屋根防水改修		、座依め水・ダ	平成30年度	年度 令和元年	度 令和2年度			
事業行程			、座依め水・ダ	平成30年度	年度 令和元年 千津工事	度 令和2年度 三本松設計			
事業行程	その他改修		、座依切水・ダ	平成30年度	年度 令和元年 千津工事	度 令和2年度 事 三本松設計			
事業行程	その他改修 ガス管改修	5、外壁改修		平成30年度 峰岸2·3号棟3	年度	度			
事業行程目標	その他改修	5、外壁改修	【現状値】	平成30年度	年度	事 三本松設計			

							事	業 実	施		(D	o)			
	事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価) 計画的に長寿命化を図るため、峰岸住宅3号棟の屋根防水・外壁の改修工事を実施します。 また、市営住宅長寿命化計画については、次期計画(令和2年度~令和11年度)10ケ年を策定します。														
				○ すべて直接実施											
実施方法			□ 業務委託 □ 指定管理			管理	委託先又は指定管理者								
	〔選択・記入〕			□ 補助金				補助先							
				☑ その他					具体の	内容	工事施	工業者•委	託業	者	
				項目					TI.	成30年度		年度 令和元年度 令和2年度			
	実施結果			屋根防水改修、外壁改修							令和元年度 峰岸住宅3号棟			ካ ጥረት ነ	.
				その他改修						-	検討				
				ガス管改修											
¥	を にんし しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅう しゅうしゃ しゅん しゅうしゃ しゃ しゅうしゃ しゃ し	した取	組の内容	峰岸住宅3号棟の屋根防水・外壁改修工事を実施しました。 市営住宅長寿命化計画(令和2年度~令和11年度)を策定しました。											
			【指標名】			「 1 目 ±	状値】 平成30年度		年度 令和元年度			令和2年度			
	目標の達成状況			改修工事の進捗率 (3		0 (平成2	%	15.00		23.8%		13 4112-4-7			
H			年度		亚克尔	0年度 実績			会和	元年度 実績			会和	2年度 実績	
			ー <u>ス</u> 豊合計(a)	46,656			56 千円				千円				千円
	国県支出金 ①			·					9,512						
	内	地	方債 ②			27,4	00 千円	ı	11,900		千円	0		千円	
	訳	その)他特財 ③				0 千 F	ı	0					千円	
	•	(a	一般財源)-①-②-③			2	36 千円	-H 2928				0 +			千円
	国県支出金の内容			社会資本整備総合交付金(防災・安全)補助率 45%											
	コスト その他		受益者負担	● 有		(無	前	回の改定	時期	収入に基づき	毎年策算	定(住宅使	 月料	•)	
			その他												
	人		正規職員	0.2	人	1,7	702 千円			1,914		0	人	0	
	件費		の他の職員	0	人		0 千 F	0	人	0	千円	0	人	0	千円
			‡費合計(b)	0.2	人	1,7	02 千円	0.22	人	1,914	千円	0	人	0	千円
			アルコスト n)+(b)			48,3	58 千円			26,254	千円			0	千円
	単化 当た コス		対定義象			入居者	単位	:		入居者	単位				単位
		当力	たり	数対象数				40 人			313	人			
総事業費 /対象数						50 円		83,879 円				円			

	ī	平(西	(Check)
進捗状況 〔選択・記入〕	計画どおり (A)●概ね計画どおり (B)計画どおり進捗せず (C)	В	左記 判断 理由	屋根防水・外壁の改修工事について、峰岸住宅3号棟を実施しました。(市内5団地中3団地完了) 市営住宅長寿命化計画について、次期10年間(令和2年度~ 令和11年度)の計画を策定しました。
実施水準 〔選択・記入〕	● 一律に比較できない事業	_	他市事内等	市営住宅については、建設年度、維持管理状況などが異なることから一律に他都市と比較することは困難であると考えます。
有効性 〔選択・記入〕	高い (A)普通 (B)低い (C)	А	左記 判断 理由	既存団地を有効に活用するため、建物の耐久性に係わる改修 工事を計画的に実施することにより、長寿命化を図っています。
効率性 〔選択・記入〕	効率的に実施されている (A)改善の余地がある (B)抜本的な改善が必要である(C)	А	左記 判断 理由	市営長寿命化計画に基づき、交付金を活用することにより効率 的に進めています。



■ 取組の改善 (Action) へ

	取組内容の改善(Action)								
所属長 による 今後の 方向性の 判断	方向性 〔選択〕	● 現状のまま継続● 見直しの上継続	事業推 進上の 課題	施設の老朽化が進むなか、良好な状態で維持・活用するためには、引き続き計画的に更新を行っていく必要があります。 また、特に住戸内の工事については、入居者の生活に影響が生じないように、調整し実施する必要があります。					
令和2	年度の取組方針	計画的に長寿命化を図るため ・三本松住宅屋上防水・外뭨 ・精進場住宅ガス管改修工事	 建改修工						
所管部	市営住宅の長寿命化は、限られた資源の活用やコスト削減など経済面においても有効な取組であると考えていす。 所管部長による総評 前き続き、国の補助金(社会資本整備交付金)を活用し、計画的に実施していく必要があると考えます。								